

第2回 7月豪雨災害から防災対策を考えるアンケート 結果集計 12月実施

1. 感謝・お見舞い

- アンケートは、人前では話づらいこと、今まで知らなかったこと、素晴らしい考えを持ってみえること等を知ることができ、とても良い方法だと思う。まずは企画者の方々に御礼申し上げます。
- 岩滝まち協の役員様には広報いわたきなどで岩滝の情報がよく分かり感謝しております。
- 役員の皆様御苦勞様です。
- 敬老記念品で防災リュックをいただいてありがたい。
- アンケートの集計ありがとうございました。日頃の準備の大切さを教えられました。
- 災害被害を受けた方にお見舞い申し上げます。
- 地域の方々、消防団・役員の方々にはとても感謝しております。これから若い方が少なくなり老人ばかりになります。どうぞよろしくお願い致します。
- 災害で家の裏が崩れて心配しましたが年内に復旧作業して頂き大変ありがたかったです。
- 市からの支援をいただきありがたく思います。
- 個人ではできないことに援助の手を差し伸べていただいてうれしかった。
- 災害後の市・県の早い対応にも感謝したい。
- 近所の方が避難に声を掛けて下さり感謝しています。まち協の方にはいつも感謝しております。よろしく申し上げます。
- 消防・地域の皆様に協力してもらい土嚢を積み、作業場への流入を防ぐことができて助かりました。ありがとうございました。保険も見直しました。
- 町内会・消防団・行政、多くの方々の支援がありとても感謝しています。ありがとうございました。また、災害に遭われた方には御見舞い申し上げます。
- まち協・町内の役員・消防団の方々にはたいへんお世話になり感謝しています。
- まち協・町内会・消防の方々にはとても感謝しています。ありがとうございました。
- 7月の豪雨災害では消防団の活動が力になり感謝しています。町内としてもできるだけ補助金の助成をしたいと思います。
- このたびアンケートに2度にわたり取り組んでいただき、真剣さに感動しました。今後ともよろしくお願いいたします。
- アンケートの集計を読ませて頂き、日頃の準備やいざというときの決断の大切さを教えられました。ありがとうございました。

2. 感想・思い

- ・防災について皆さん真剣に考えていることが分かりました。
- ・全ての項目によく改善点や対策が考えられているため、今回の災害はよい教訓になったと思います。対策により防げる部分は防ぎ、安全を確保することが大事だと感じております。
- ・これからどんな災害が起きるか分かりませんが、まさかというさかが一番恐ろしいです。今回の災害は色々考えさせられました。人の命ほど大切なものはありません。風化させないようにしましょう。
- ・集計結果を何回も読ませて頂きました。自分の思ったこと・できなかったことなど多くの方の経験やご意見を参考にしてこれからの災害時に役立てたいと思います。
- ・皆さん色々な意見があり大変参考になりました。
- ・豪雨の時を思うととても怖くなり泣けてきます。救急隊の方に「滝町を離れたほうが良い。」と言われて救急車に乗せてもらって高山市内へ避難しました。途中で岩滝公民館の横を通りましたが、あの谷がまさかあんなひどい状態になるとは思いませんでした。うちの横の谷もひどいものでした。
- ・避難のタイミングは、最悪の状態での避難にならないよう空振りでもいいので早めの避難を心がけたい。
- ・災害にあってみて恐ろしさを感じます。現在二人で住んでいますが、一人だったらと思うと怖くて仕方ありません。一人でも対応できる知識を持たなくてはいけないと思いました。
- ・人命に被害がなかったことが幸いだったと思います。
- ・このようなアンケートを実施して、どうしたら良いか皆で平時から相談しておくのほとても良いことだと思えます。
- ・思い当たることが多くあって同感しました。
- ・自分で自分の身を守る努力をする。他人のせいではない。災害が起こると皆目の前のことで精一杯。避難の呼びかけには素直に従う。危険が迫っているときに長々と説明はしない。
- ・河川の氾濫によりハウスに土砂が入り、氾濫の恐ろしさを目の当たりにしました。今だに土砂崩れにより田んぼに泥が入ったままの姿を見ると、今後同じような災害が起こったらどうなるのか不安になります。
- ・災害は突然にしかも想像を超える状況となることが今回の豪雨で思い知らされました。
- ・停電については慣れていて対応できたが、避難が必要になる災害は初めてだったのでとまどった。今回を機に真剣に考えなければならないと思っている。
- ・夏の停電も冬の停電も経験しているが、心のどこかで大丈夫みたいに甘く考えている気がする。今はコロナもあり予防や防災の準備の大切さを感じているので実行していきたい。防災グッズも準備したい。
- ・消防の方が岩井のほうを回って避難するように家まで来て下さった。自分はこんなに災害になっているとは思いませんでした。家の裏で水が清水のように湧き出て、畑と倉庫の裏からも水が出て畑が水びだしになり、どうしたらいいのかと一人で考えました。家の裏に溝を掘って流しました。

3. 人と人との助け合い

- 被害が少ないから助かったと思うのは普通ではありますが、被害の大きかった方にしてみれば、今日・明日をどうすればいいの？という現実があります。人ごとのように思わず、助け合いが大切だと思います。
- 町内会に入ってみえない方や、人とのつながりがあまりない方もみえます。小さい地区だからこそ普段からのつながりが大切だと思います。
- 今回はよかったが、一つ間違うと人命にかかわることになると痛感した。みんなで声かけあって命を守れるよう互いに意識を持ちたい。
- となり近所の声のかけあい、高齢のばあちゃんがいるので早めの避難、岩滝住民が一つになって協力・助け合い、連絡網を作ってスムーズに動けるように。
- 皆さんが岩滝を災害に強い町、助け合いのできる町にしたいと考えて下さっていることをとても嬉しく思います。こんな時だからこそ共に暮らしていくことを大切にする岩滝であり続けたいです。行動を起こさないと何も変えられないので、気付いた人から一人ずつ参加をして、どの世代の人でも安心して住み続けられる町にしたいです。
- 今回の災害で人と人のつながりが大事だと感じました。また、これから老人や一人暮らしの方が増え、見守りや支援が必要になると思います。人と人との繋がりをどう継続していくのか皆で語り合うことが重要なのではないのでしょうか。

4. 日頃の備え

- 家のまわりの側溝の掃除など各自で行うようにしなければならぬと、つくづく思い知らされました。
- 家族の「緊急避難所を決めておく」ことが大切だと思う。家のまわりを見てまわり、日頃の手入れをしておくことが一番大切だと思います。
- 年に1・2回田んぼを作っているいないにかかわらず、用水路などの草刈りやゴミを取り除く作業を皆で協力して行うことが大切だと思います。日頃の少しずつの作業がいざというとき役に立つと思います。
- 私は災害に備え、農道の草刈り・用水路の草刈り・法面の草刈り・農地の管理・側溝の泥上げなど、見回りや管理を今までより多く行うよう心掛けたいと思います。
- 側溝の掃除は定期的にするとうい。防災訓練と一緒にするとよい。近所どうして草刈りや家のまわりの手入れも。
- 皆さんのアンケートを見て、人ごとではなく我家にも当てはまることばかりです。家のまわりの危険箇所を確認しておくこと、日頃から水回りのゴミ・土・砂利などこまめに取り除くこと、昔からある溝や水路のこまめな草刈り、非常持出し品を準備しておくことなど。
- 災害はいつ発生するか分からないので、日頃からの備えは大切だと思います。
- 地域全体で危険箇所を事前に確認しておく必要がある。迂回路も含めて。

5. 避難所の設備・運営

- ・プライベートを守るためにテントやパーテーションが必要。コロナ対策も含め、避難所で長時間過ごせる改善が必要。
- ・避難所に泊まるとしたら、コロナ感染も心配なため、仕切りや床に敷くマットなどがあるとよい。電話が使えなかったので、車でつながる場所まで移動していたが、電話を使える工夫がほしい。
- ・岩井町約42軒、120人余り。滝・生井を加えて大勢が余儀なく避難所生活が実施されたとして、公民館や岩滝小で一夜を過ごすためには、具体的な案を練らなくてはならない。ましてコロナ禍への対応も必要になる。案として、①間仕切り――地元の大工さんに相談して戸・障子の再利用。②寒さ対策――来客用の綿座布団の利用。③飲食――兵糖食（みそ団子とか）④体調不良の方への対応――電動ベッド用発電機。⑤乳幼児への対応――母子の部屋の確保。⑥住民として――おにぎり、味噌汁、寒暖差を調整できる衣類。⑦各公民館――先人は非常用の米を毎年準備されていたとのこと。ガスが使えるので炊き出しは可能。

6. 避難所（岩滝小）は適切か

- ・豪雨・豪雪・地震等、災害の種類によって避難場所を変えるとよいのではないか。例えば各町内の公民館を利用する。
- ・”岩滝小への避難は適正なのか”の意見に賛成です。私の家も岩滝小まで約3kmあり、移動中に危険にさらされる可能性もあり、ましてや奥の方へ避難する考えはありません。
- ・どの意見もその通りだと思いました。岩滝小へ行くまでの道は心配です。各町内に避難場所があればいいなあと思います。
- ・避難場所1ヶ所といのは地域の広さ・道路事情からもむずかしい。もう少し近いところにほしい。
- ・滝町の場合、小学校への避難は危険な気がします。そこで、消防の詰め所が使われずありますので、その2階を避難所にしたらどうかと思います。滝町公民館は川のそばすぎて危ないと思います。
- ・避難所へ行くことは大事だとは思いますが、交通手段のことや、行くまでの道路で土砂崩れに遭遇する心配もあるので、個人の判断も必要だと思った。
- ・アンケートに、避難所がどこか知らなかった、みんなが避難したことを後で知ったという人がいましたが、日頃から避難情報の周知を徹底しておくことが大事だと思いました。あのとき消防団が声をかけて回ってくださってありがたかったし、近所の方と一緒に避難したので道も分かって心強かったです。
- ・避難するとき一番怖かったのは途中の道でした。生井公民館へ避難してから、また岩滝小へとの連絡で、一旦家へもどってから岩滝小へ行きましたが、岩滝公民館の前の道は誰が通ってもおかしくはないことでした。自宅で様子を見ているほうが安全なこともあるのではないかと、後から思いました。

- ・各町内の公民館が避難場所として理想的。避難所の食事・生活の充実につとめる。
- ・岩滝小へ避難したときは、道が危険だと思いました。
- ・岩滝小までの道路はいつ崩れてくるか不安なので、身近な避難場所を確保できるとよい。
- ・避難所までの道路で数か所土砂崩れがあった。近くで安全な避難所がないだろうか。
- ・岩滝小学校への避難（特に滝・生井町の皆さん）が適正なのかどうか。市当局においては過去を含め、岩滝地区個々の詳しい被災状況は十分解らないこともあるでしょう。岩滝は三つの谷に分布する三町内からなる人口も戸数少ない小さな集落から、指定避難所は小学校1ヶ所で十分と、高台にあり地区の安全な施設として指定されたのだと思います。避難所としては確かに最適な場所・施設ですが。ただそこへ辿り着くまでの途上が大いへん危険にさらされています。

道路へ土石流崩落が発生し、車ごと避難一家が巻き込まれ、行方不明というような悲惨な事態が起こりうる地域の実情です。大袈裟かも知れませんが……。幸いにして上流岩滝は、全国の大災害ニュース報道に観るような河川が大氾濫し、堤防が決壊して家が濁流に浸かり、二階や屋根上に避難し救助を待つというような事態は考えられません。避難の必要はありません。停電し避難指示があっても各自家にジッと我慢し落ち着くまで待機しているのが一番の安全策。ましてや大雨の夜間など屋外に出歩くなどは危険極まりない。

33年災は、高山市内では合併間もない岩滝（特に岩井と生井）が一番災害を受けた地域で、避難などと言う救済はなく、大八賀川をはじめ岩滝地域にある橋梁（木橋）は殆んど流失してしまったにも関わらず、その当時は各自が家で鎮まるのを待っていたものです。生井では河川の氾濫によって、倉庫か作業小屋が一部流されたようですが、地区内での人災は全く無かった大雨台風災でした。

岩滝は地形的にも一集落に一ヶ所の会場が必要で、皆が即近くへ避難できると思います。避難先として滝町は岩滝トンネル、生井町は公民館か平坦安全な民家を借用か不可ならば安全な岩滝トンネルへ。滝・生井に比べ岩井は比較的平坦地が多く、小学校へは避難することなく指示があれば公民館への自主避難です。学校へ行く者は無いと思います。岩井町は公民館か岩井神社が安全地。《最低でも施設に発電機一台あれば十分》避難所までの道路は危険箇所がいっぱい、迂回路の整備が必要、しかも避難所まで行くのが遠くて困る。また各町内に安全な避難場所・建物があれば良い等の意見がありましたが、三町内とも、それぞれ各一ヶ所の一時緊急避難所を設ければお互い身近で安心して避難できるので最適かなと考えます。

7. 今後の防災対策 ソフト面

- 岩滝に生まれ育ちながら、どこが何という名字で何人住んでいらっしゃるのか、どこが空家になっているのかなど知らないことがいっぱいあります。危険な場所も含めて手書きの地図で良いので、共同作業で作れたらいいなと思います。
- 地形や危険個所がよく分かったので、各町内単位で考える方法も良いと思った。
- 災害復旧工事が始まっています。工事車両やダンプカーなど車の通行が多くなりますので、通学路の安全確保、交通痛安全に気を配ることが大事だと思います。
- 今回の災害は稀に見る水害でした。過去にも大きな水害が起きたことを知ると、やはり山に住む我々にとって災害とは常に隣り合わせだと感じました。災害といっても地震・台風・大雪など様々あります。今回の件を一つのきっかけとし、岩滝地区一人一人の災害への備えが必要だと思います。
岩滝地区全体で考えるのも必要だが、各町内での共通認識が絶対条件だと思う。避難のきっかけはもちろん個人だが、前もって公民館だとか岩滝小だとか決めておいたり、独居の方が多いのであらかじめ近所や班の方に頼んでおく。食事は各自で必要分を持って行く。非常食・電気・冬ならストーブとか毛布も。このように、市や町内会・まち協と共通のツール（連絡方式）を確認しておき、いざという時の行動ができたらいいと思います。誰かがやれというのではなく、皆が協力できる「災害に強い岩滝」のようなテーマを皆で考えていけばいいと思います。
- 避難所開設は市職員と先生にいただいたが、地域住民で開設できるようノウハウの習得が必要だと思う。
- 非常持出し品の見直しをしようと思いました。食料品の他、簡易トイレ・下着なども。
- 7月の災害時に避難したことは、こう言っては何ですが実戦を兼ねた訓練になったのではないかと思います。あの時は半日ほどで帰れましたが、その時の教訓を生かして大規模災害に備えることが大事。避難所に来なかった人もいたので、町をあげて避難訓練をしておくことが大事だと思う。
- これだけは必ず必要と思われる非常持出し品のリストがあると便利だと思う。
- 避難の判断は難しいとは思いますが、早めの判断が大切で、避難訓練は定期的に校下で行い、防災意識を一人一人が高め、また忘れないようにすることが大事だと思います。災害時の対応はいざとなるとパニックとなり、どのように行動すればよいか分からなくなるので、町内でよく話し合いをしておくことが大事。
- このような災害がいつまた起きるかわからないので、防災の勉強会や防災訓練が必要と感じました。
- 避難所が何処かわからない、避難所への道路は何処を行けばよいかかわからないという意見がありましたが、各家庭で近隣同士で話し合っただけで日頃から心得ておくべき。
- 災害の情報や避難などについては、これからも消防団や町内会の「ロコミ」でお願いします。

8. 今後の防災対策 ハード面

- この頃は想定外の災害もあり難しいとは思いますが、一軒一軒の家にこういった危険性があるのか防災診断をしていただきたいと思えます。
- 停電に備えて発電機がほしい。
- 雪と倒木による停電のとき大変苦労した。家庭で小型発電機を用意する必要がある。
- 防災ラジオの各家庭設置及び購入の補助をしてほしい。
- 誰もが改めて自然災害の恐ろしさを感じていると思う。数年前の雪による倒木や今年の豪雨災害も今までに経験したことのない災害です。今後はこれらを教訓として危険個所の点検（災害の起こりやすい土質や谷など）をしておくことが大切だと感じた。
- 過去の豪雪のとき電気のいらぬ昔からのストーブが役に立ったことを思い出しました。ベタ雪によって木の枝が折れ、通行止め状態でした。
- 白土の場所が危ないことが分かった。防災の専門家（地質学者など）の意見を聞き、取り入れる。
- 停電に備えて各自、発電機の必要性の意見がありました。同感で、時に絶対必要な機材なため遅ればせながら自分も購入の計画します。発電機があっても燃料のガソリンは常備して置くことが大事です。
停電した時に発電機のコンセントを各家々へ繋げるように 電力会社へ依頼して欲しいという意見がありましたが、これは絶対に無理です。発電機は自家用機材ですから。
- 防災無線は外へ出ても聞き取れない。防災ラジオがいいかと考えている。
- 棚田や山林作業道の復旧にかかる費用のうち、地主負担の何%かを岩滝まち協で予算化して支援してほしい。修復時の重機の燃料代や材料代もまち協で予算化して、行政から助けてもらえないところへ支援してほしい。停電をなくすため電線そばにある危険木伐採の申請を積極的にやってほしい。岩井神社横通学路のそばの電線が危険木で切断される心配がある。谷水が側溝に入るところで吹き出ることがある。巾の広い水路、太めの排水管に取り替えてほしい。また、水路・排水管・道路の点検を地域のみんなでやるように。

9. 要望

- 全部いいことが書いてあったので、いくつかの項目に分けて、市へ頼むこと、町内で考えること、社教で行うこと等に分けて、社教で進めてほしい。
- 行政の方は、郡部のことを何事にも後回しにしているように思える。岩滝は道路が通行止めになると孤立してしまう。
- 棚田の早期復旧をお願いいたします。
- 川にはまだ大きな石が残されているので引き上げてほしい。

10. その他

- 協働作業が若い力不足になったので、町内会費から日当を出すという意見に賛成です。
(草刈り・雪下ろしなど)
- 後継者不足・少子化で将来が心配。町内編成とか学校問題等真剣に考える必要がある。
- 今単位町内会、岩滝連合町内会、まち協と小集落に似通った組織が存続しています。そしてそれぞれが全戸から毎月会費を徴収されています。少子高齢化とともに過疎化の進む岩滝三町内は、今後ますます戸数も人口も減少し、単独町内運営は将来的に段々と難しくなっています。そこで案は、三町内会を岩滝町内会に一本化すること。連合町内会費が不要となり、町内会費一本で負担が軽減され、簡素化で全戸統一できます。そして、防災体制の確立、情報伝達・広報など地域の諸問題を新町内会とまち協が連携して幅広く取り組んでいただきたい。
- 岩滝公民館はどうして使えないのでしょうか。谷からの土石流の危険はあまり感じられませんが、再確認をお願いします。曰(このことについて議員と語る会でも話題となり、議員から市へ話をしてもらいましたが、市の回答では「谷の工事が終わるまでは危険と考えて使用禁止とします。」とのことでした。)